

# Estuary 054



## エスチュアリ

いしかり砂丘の風資料館だより

☆エスチュアリ…「河口」の意味。北海道一の大河、石狩川と日本海とが出会う場所、それが石狩です。

### 展示資料のひみつ

「舟喰虫」と書いて、フナクイムシ。虫の仲間？  
いいえ、違います。

海岸に漂着した流木や、木でできた古い桟橋に、直径0.5～1cmくらいの穴がたくさん空いているのを見たことはありませんか？ あれが、フナクイムシのしわざです。

フナクイムシは、実は、二枚貝の仲間。外見はミズミミですが、先端に申し訳程度の小さい貝殻があるのです。その貝殻を使って木に穴を空け、その中で暮らします。

望来海岸で拾った転石の中に、このフナクイムシに穴だらけにされた木片の化石が入っていました。フナクイムシ本体や貝殻は化石としては残っていませんが、このような過去の生物の痕跡も、化石の一種。「生痕化石」といって、生物本体の化石と同じ



### ■フナクイムシ生痕化石

*Teredo navalis*

軟体動物門 二枚貝綱 異齒亜綱

オオノガイ目 フナクイムシ科

時代：新生代 新第三紀 中新世

採集日：2016年10月11日

採集地：北海道石狩市厚田区望来海岸

これが現在の(化石じゃない)フナクイムシに食われた漆木。穴は自分で石灰質で補強する。



フナクイムシの正体。ここが貝殻



Popular Science Monthly vol. 13より

ように、当時の環境を教えてください。

望来と言えば、貝化石がたくさん見つかるので有名な場所。しかもそのほとんどは「化学合成群集」と呼ばれる、陸から離れた深い海底に生息する貝たちです。遠くから流されてきて、沈み、埋もれて化石になった、流木のカケラは、800万年前の陸と深海との出会いです。◆

(志賀健司 しがけんじ)

# 考古学を楽しむ 〈3〉

## 土器文様の不思議

資料館のテーマ展「土器文様の不思議—石狩市内の遺跡から—」が始まりました。

今回の展示は、すべて石狩市内の遺跡から出土した土器です。北海道で土器が使用されていたのは、縄文文化・続縄文文化・擦文文化です。これらの土器に見られる文様をとおして、時期の異なる土器を比較し、数千年

の時の流れを感じていただければ幸いです。

ここでは、展示品から4点、土器文様の見どころとなるポイントをご紹介します。紙面では実測図を示していますが、ぜひご来館いただき実物の土器文様をお楽しみください。◆

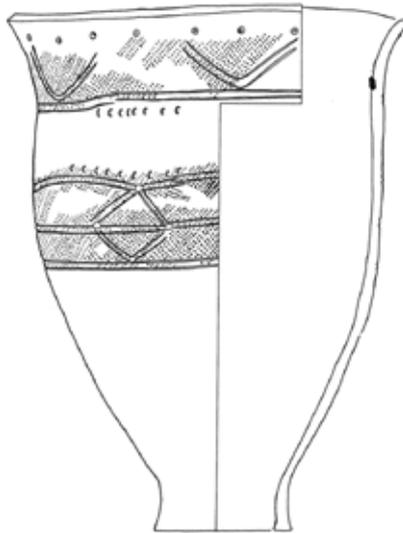
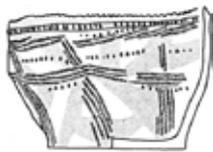
(荒山 千恵 あらやまちえ)



1. 志美4遺跡(縄文時代晩期)の壺

【見どころ】

- 器の口にある刻みと装飾
- 縄文、雲形のような文様



2. 若生C遺跡の浅鉢形土器(後北式土器)

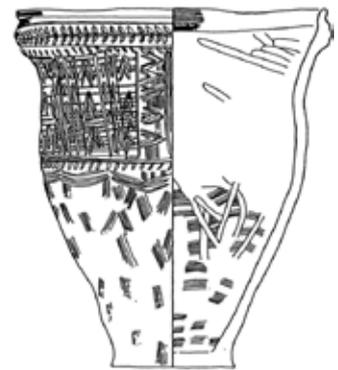
【見どころ】

- 帯縄文、列点文
- 赤色顔料による装飾

3. 若生C遺跡の甕(北大式土器)

【見どころ】

- 円形刺突文、爪形文、縄文
- 沈線によるV字形や菱形の文様



10cm  
(4点とも共通スケール)

4. 若生C遺跡の甕(擦文土器)

【見どころ】

- 胴部の刻線文

テーマ展

### 土器文様の不思議 —石狩市内の遺跡から—

石狩市内の遺跡から出土した縄文文化・続縄文文化・擦文文化の土器を展示します。土器の形や文様にはいろいろな特徴がみられます。今回は各時期にみられる土器の文様を中心に、当時の人々のものづくりの技に迫ります。

- 期間 9月20日(水)～11月6日(月)
- 場所 いしかり砂丘の風資料館

※資料館の入館料が必要です。(大人300円)



開催中!

体験講座

### 縄文土器の文様を作ろう

縄文土器の文様のしくみをねんどに再現した文様標本を作ります。

- 日時 10月28日(土) 10:00～12:00
- 場所 いしかり砂丘の風資料館
- 対象 小学4年生～大人(小学生は保護者同伴)
- 定員 10人(先着順)
- 持ち物 エプロン、タオル(汚れてよいもの)、鉛筆
- 参加無料
- 申込 10/1(日)～10/25(水)の間に電話で資料館へ(0133-62-3711)



10月開催



# umibeography 石狩ウミベ図鑑

石狩の海辺で見られる物や現象を  
毎回1つ取り上げ、紹介していきます。

003

## 義経の涙岩

### The Rock of Yoshitsune's Grief

北厚田層群 安瀬集塊岩層  
(新生代 新第三紀 中新世)

撮影日：2017年8月17日

撮影地：ルーラン海岸（北海道石狩市厚田区）

座標：43.458N,141.404E

#### 一般情報：

新第三紀中新世（2300万年前～530万年前）中期から後期にかけて、水中火山活動によって形成された、水冷破砕岩。高温の溶岩が海中に噴き出し、海水で急冷されることによって、砕けながら固まった岩石。

#### 石狩情報：

岩手県平泉で討死したとされる源義経が、実は生き延びて蝦夷地に逃れたという伝説がある。北上して辿り着



いたこの洞窟で舟を休め、愛する静御前のことを思って涙した、という。かつては国道231号線から見る事ができたが、太島内トンネルの完成によってルートが切り替えられてしまい、現在は陸上から辿り着くことは極めて困難。幻の絶景。◆

(志賀 健司 しがけんじ)

## ★モエル君のこと★

受付近くにあるオレンジ色の座布団に鎮座した石炭の置物には、“モエル君”という名前がついています。8年前、見学者が展示を見ながら問題を解いていくワークシートの作成を頼まれ、「さっと／ちょっと／じっくり 考える」と3段階に進んでいくものを考えました。その景品として思いついたのが、一つずつ制覇していくと、金屏風・座布団・石炭の置物と順番にアイテムが貰えることでした。目をくっつけた姿がカエルに似ているのと、ワークシートにチャレンジして資料館の展示物のこともより深く知りたいと熱く燃える願いで、“モエル君”と命名しました。

その後、紆余曲折(?)し、ワークシートは、「資料館探検クイズ」と形を変え、クマコース・チョウザメコースの2つになって実施されています。お子さんから大人の方まで楽しんでチャレンジしてくださっているの

で、嬉しいです。こちらは、巻物風の「いしかりはかせの書」まで読むと“いしかりはかせ認定証”（カード型）が貰えます。

景品として出番が無くなったモエル君、今は、招き猫がわりに置いています。そして、“めのうちゃん”と“お軽さん”という仲間が増えました。この二人、何で出来ているかわかりますよね…◆

(倉 雅子 くらまさこ)



座布団に座った“モエル君”。



こちらは“めのうちゃん”。

2017年 秋の講座・展示

トークイベント

**ウミベオロジー／石狩海辺学2107**

—ウミベに見える海の変化—

海辺は海と陸との境界線。いろいろなモノが集まり、さまざまなコトが起きます。海辺の不思議や秘密を研究者がトーク！貝殻から昔の気候がわかる？石狩湾にジンベエザメも来た？

- ゲスト 三宅教平さん（おたる水族館）  
宮地 鼓さん（苫小牧市美術博物館）
- 日時 10月21日（土）16:00～17:30
- 場所 紀伊屋書店札幌本店（JR札幌駅西口）  
1階インナーガーデン

※参加無料・申込不要  
（直接会場へお越しください。イス約80席）

10月  
開催

**プロジェクトM：  
石狩遺産シンポジウム**

いしかり・まちの魅力を届けよう！  
プロジェクトM

石狩市の歴史や風土、自然が織りなすストーリー、石狩遺産。昨年3件が認定されました。今年も市民のみなさんが推薦・プレゼンします。参加者と一緒に意見交換し、新たな石狩遺産を認定しませんか？

- 主催 石狩遺産プロジェクトM
- 日時 11月18日（土）午後
- 場所 石狩市民図書館（石狩市花川北7条1丁目）
- 定員 40人（先着順） ■参加料 無料
- 申込 11/1（水）～11/15（水）の間に電話で資料館へ（0133-62-3711）

11月  
開催

**石狩遺産ツアー（11/5開催）**

**石狩遺産第2号 紅葉山砂丘**

石狩遺産の第2号、紅葉山砂丘。かつての海の痕跡と、人の暮らしの変遷、約8kmを歩いて迎えます。※要申込。石狩市広報10月号などをご覧ください。

野外講座

**石狩ビーチコーマーズ  
秋の海辺の漂着物**



秋の石狩浜では、暖流が運んでくる漂着物がたくさん見つかります。南の海の生物、外国の容器…。漂着物を観察・採集して、海の世界を覗いてみます。

- 日時 10月29日（日）09:00～13:00
- 場所 いしかり砂丘の風資料館、石狩浜
- 対象 小学4年生～大人（小学生は保護者同伴）
- 定員 20人（先着順） ■参加料 無料
- 持ち物 長靴、帽子、ビニール袋など。
- 申込 10/1（日）～10/27（金）の間に電話で資料館へ（0133-62-3711）

10月  
開催

体験講座

**フライドチキン骨格標本をつくる**

鳥は恐竜の子孫。ということは、フライドチキンはフライド恐竜!? チキンを食べて、翼や脚の部分骨格標本を作れば、1億年の生命の歴史が見えてくる！

- 日時 12月16日（土）12:00～17:00
- 場所 いしかり砂丘の風資料館
- 対象 小学4年生～大人、10人（先着順）
- 持ち物 フライドチキン1ピース  
（※骨付きのもの・当日食べられる状態で）
- 参加料 無料
- 申込 12/1（金）～12/13（水）の間に電話で資料館へ（0133-62-3711）

12月  
開催

**CISE** 恐竜サイエンス・テリング2017  
恐竜博士になろう！

※詳細は北海道大学総合博物館（CISE事務局）までお問い合わせください。



**編集後記**

義経の涙岩（→石狩ウミベ図鑑）、2種類の陸路で行ってきました。延々と沢を辿って滝を越えたり、ロープを使って崖のような斜面を下ったり。もう一度行けと言われたら、う～ん… と考えるほど、どちらも険しい道程でした。地図で見ると国道からほんのちよとなのに。今はインターネットでチベットでも南極でも行ったような気になれますが、実際に自分の足で行ってみると、地図で数cmの距離でも、住んでいる町でも、実は秘境の連続だ！（け）

**いしかり砂丘の風資料館**

- 開館時間 午前9時30分～午後5時00分
- 休館日 毎週火曜日（祝日の場合はその翌日）、年末年始
- 入館料 大人：300円、中学生以下：無料  
団体料金240円（15名以上）
- 交通 中央バス札幌ターミナルより石狩行き乗車、  
「石狩温泉」下車、徒歩1分  
（石狩温泉「番屋の湯」となり）

エスチュアリ No. 54



2017年10月1日発行

いしかり砂丘の風資料館  
〒061-3372 北海道石狩市弁天町30-4  
TEL/FAX: 0133-62-3711  
bunkazaih@city.ishikari.hokkaido.jp  
http://www.city.ishikari.hokkaido.jp/museum/